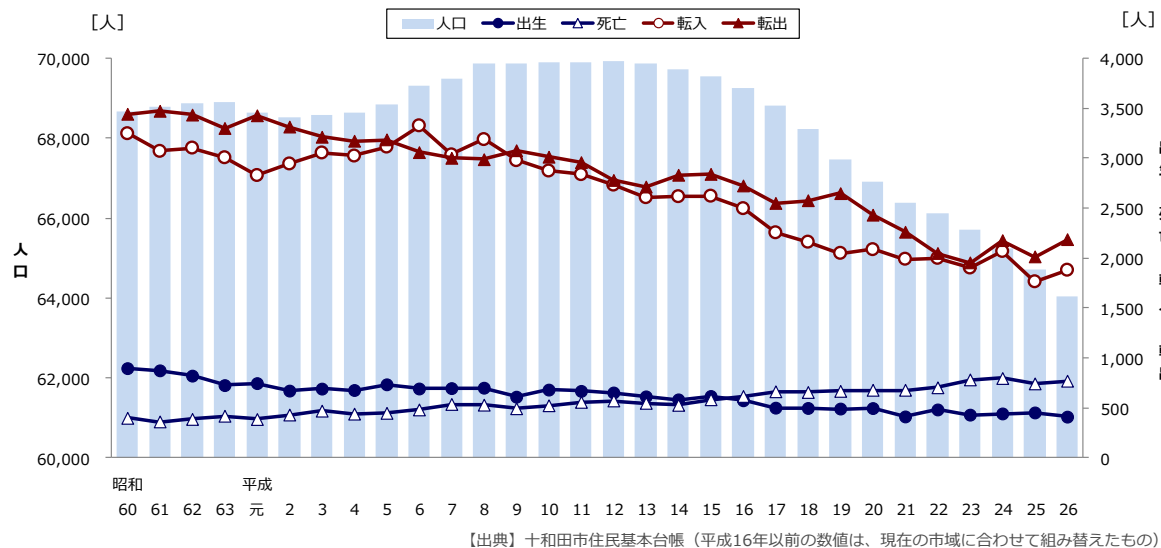


十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの概要

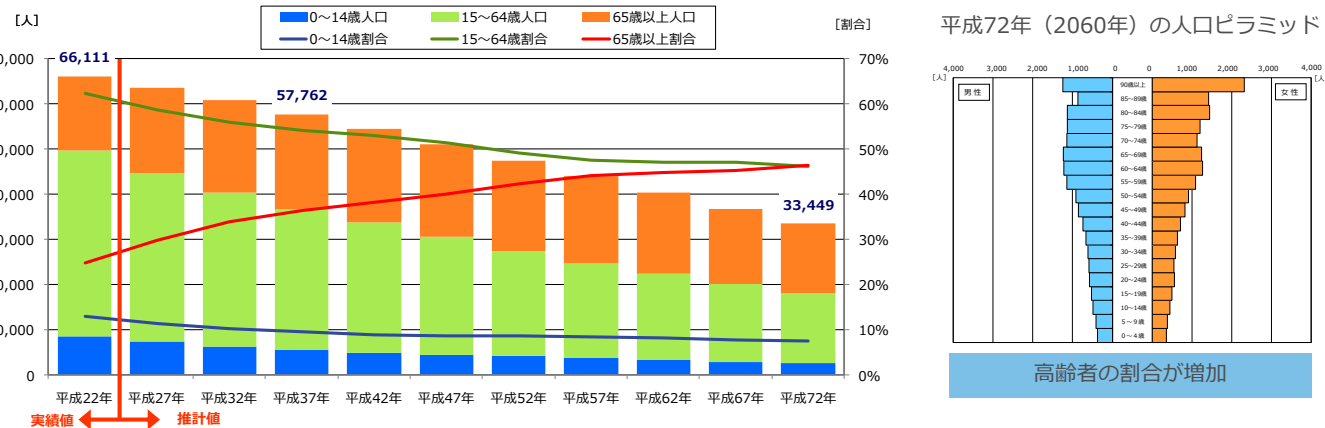
1. これまでの人口の推移

- 出生数の減少による「**自然減**」と、若者の市外への転出による「**社会減**」の両方が進行し、平成12年をピークに人口は減少している。



2. 将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所による推計に準拠）

- 今後も**人口減少は進行**し、平成37年（2025年）には57,762人まで減少し6万人を割り込む見込み。さらに、平成72年（2060年）には33,449人と対平成22年比で49.4%減少（▲32,662人）すると予測される。



3. 十和田市が目指す将来の人口

- 自然減対策
 - 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるための施策に取り組むことで、平成52年（2040年）までに市民の希望出生率※**2.08**を達成。

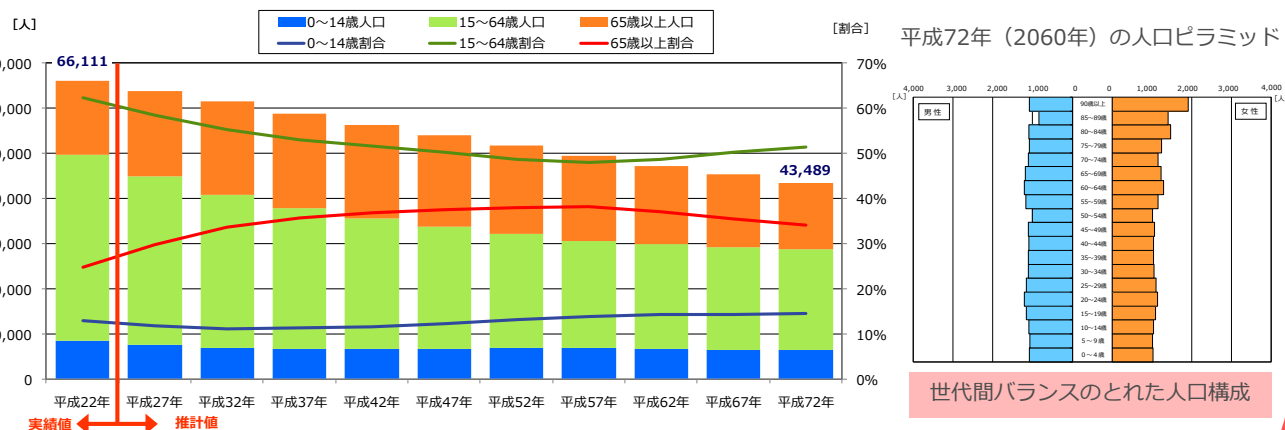
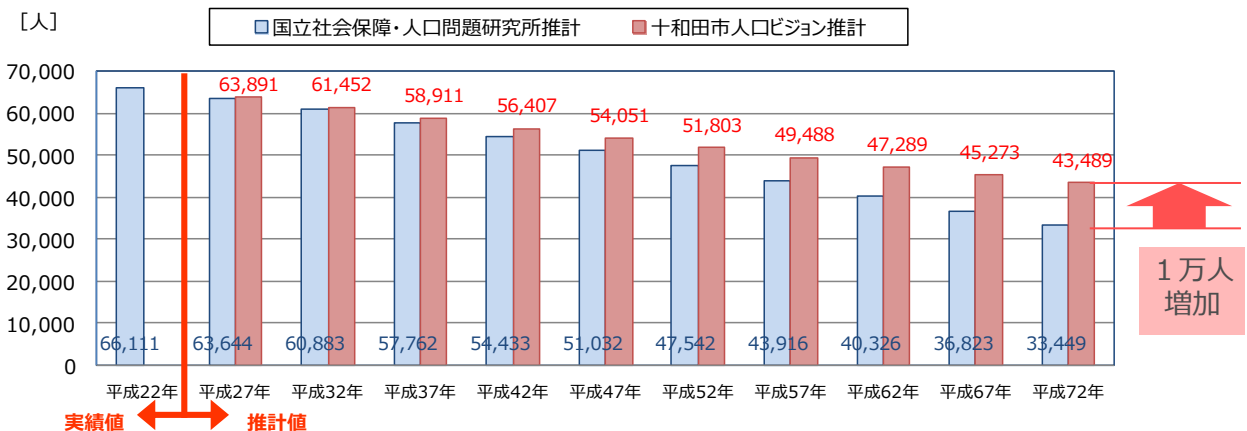
※希望出生率…平成27年に実施した市民アンケートから算出した市民の希望する出生率

	平成25年	目標				
		平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
合計特殊出生率	1.44	1.57	1.70	1.82	1.95	2.08

- 社会減対策
 - 移住・定住促進に取り組むことで、平成52年（2040年）までに**社会増減が均衡**。

	平成26年	目標				
		平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
社会増減数（人）	▲307	▲236	▲177	▲118	▲59	0

平成72年（2060年）の十和田市人口約4.3万人



十和田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成30年3月改訂版）の概要

人口ビジョン

総合戦略（平成27～平成31年度の5年間）

中長期展望

共通戦略

基本目標（◆基本目標KPI）

重要業績評価指標（KPI）

主な施策・事業

人口減少問題の克服

◎平成72年（2060年）に
将来人口推計より
約10,000人の人口増
➤平成72年(2060年)人口見通し
43,489人
(国立社会保障・人口問題研究所に
よる将来推計人口：33,449人)

●「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける
➤若者の流出を止め、呼び戻す

●「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く
➤平成32年(2020年)…1.57
➤平成42年(2030年)…1.82
➤平成52年(2040年)…2.08
(以降は2.08を維持)

●長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施

●「選択」と「集中」の徹底

●女性、移住者、高齢者が活躍できる地域社会づくり

元気づくり人材・PR人材の育成

市民連携の仕組みを横展開

魅力共有のための情報発信

十和田で想いのある仕事を

地域における安定した雇用を創出する

- ◆年間観光客入込数 271万人(H26)→300万人(H31)
- ◆「六次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定事業者数 3件(H26)→8件(H31)

- 年間新規就農者数 4人(H26) → 12人(H31)
- 年間創業支援相談件数 40件(H26) → 70件(H31)
- 冬季宿泊者数(12月～3月) 44,529人(H29.3) → 60,000人(H32.3)
- 年間観光消費額 344億円(H26) → 380億円(H31)

- 農畜産物など高品質なとわだ産品の「ブランド力の更なる向上」
- ・地元農産物、加工品販売「市」の開催
- ・地域内連携による6次産業化への支援
- 雇用を生み出す創業の推進
- ・創業希望者への支援の充実
- ・インターネットによる販売参入支援
- 観光地域づくりの推進
- ・観光客を増やす取組体制の構築(日本版DMO・インバウンド対応・冬季観光充実強化)
- ・観光客等の利便性向上

十和田でバラ色の人生を

地域への新しいひとの流れをつくる

- ◆社会増減数 ▲307人(H26)→▲248人(H31)

- 年間近居・同居支援利用世帯数 - (H26) → 30世帯(H31)
- お試し移住を利用して転入した年間世帯数 - (H26) → 20世帯(H31)

- 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進
- ・農業による移住・定住自立支援
- ・本市にゆかりのある若者世代と親との近居・同居の促進
- ・空き家利活用の促進
- ・お試し移住の推進

十和田ではぐくもう人間愛を

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆合計特殊出生率 1.44(H25)→1.54(H31)

- 婚姻率 4.4(H25) → 4.6(H31)
- 年間不妊治療延べ申請件数 46件(H26) → 53件(H31)
- 放課後健全育成事業(仲よし会) 開設数 9(H26) → 16(H31)

- 出会い・結婚支援
- ・出会いから子育てに至るまでの情報発信
- 子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援
- ・子ども医療費の助成拡大
- ・第3子以降の保育料の軽減拡大
- 地域における子育て支援体制等の充実
- ・放課後健全育成事業(仲よし会)の拡充
- ・日本一を目指した特色ある教育の推進

十和田で育てよう地域愛を

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆介護保険制度の要支援1・2の方の維持・改善率 88.4%(H26)→92.0%以上(H31)

- 日常生活動作が自立している期間の平均 男性76.75歳 → 78.17歳 女性81.81歳(H25) → 83.16歳(H31)
- 地域包括支援センター数 1箇所(H26) → 3箇所(H31)
- 元気な十和田市づくり支援事業を活用した人口減少・少子高齢化対策事業数 1事業(H26) → 8事業(H31)
- 新たな広域的コミュニティ数 0地区(H26) → 11地区(H31)

- ライフステージに応じた生活習慣の改善
- ・生活習慣予防対策の推進
- 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
- ・地域介護予防活動の支援
- 主体的な地域づくりの推進
- ・元気な十和田市づくり支援事業
- ・新たな広域的コミュニティ活動支援
- ・地域づくりのリーダーとなる人材の育成

基本目標ごとの事業一覧 (40事業)

基本目標1 ～十和田で想いのある仕事を～ 地域における安定した雇用を創出する

18事業

- ①地元農産物、加工品販売「市」の開催
(地域でつながるおいしい十和田 農マルシェ)
- ②地域内連携による6次産業化支援事業
(加工品づくりの拠点施設整備など)
- ③野菜のブランド化対策
(土壌検査による優良野菜の生産拡大)
- ④新規就農・経営継承の支援
- ⑤創業希望者への支援の充実
(廃校・廃施設の有効活用による創業支援など)
- ⑥インターネットによる販売参入支援
(Eコマース・電子商取引)
- ⑦企業立地の促進
(立地奨励措置拡充)
- ⑧地元雇用の促進
- ⑨観光客を増やす取組体制の構築
(日本版DMO・インバウンド対応・冬季観光充実強化)
- ⑩十和田市温泉活性化事業(十和田版オンパク)
- ⑪十和田湖活性化事業
- ⑫焼山地区活性化事業
- ⑬観光パンフレット作成事業
- ⑭観光客利便性向上事業
- ⑮プロジェクトマップ事業
- ⑯観光施設Wi-Fi事業
- ⑰中心市街地と現代美術館の連携強化
- ⑱七戸十和田駅から焼山地区へのシャトルバス運行

基本目標2 ～十和田でバラ色の人生を～ 地域への新しいひとの流れをつくる

7事業

- ①農業による移住・定住自立支援
- ②移住者の創業支援
- ③本市にゆかりのある若者世代と親との同居・同居の促進
- ④移住者の住宅取得支援
- ⑤若者世代の定住支援
- ⑥空き家利活用促進事業
- ⑦お試し移住推進事業

基本目標3 ～十和田ではぐくもう人間愛を～ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

8事業

- ①出会いから子育てに至るまでの情報発信
- ②出会いサポートセンターの設置検討
- ③民間活動団体等を主体とする仕組みづくり支援
- ④子ども医療費の助成拡大
- ⑤第3子以降の保育料の軽減拡大
- ⑥特定不妊治療費助成事業
- ⑦放課後児童クラブ(仲よし会)の充実
- ⑧日本一を目指した特色ある教育の推進

基本目標4 ～十和田で育てよう地域愛を～ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する

7事業

- ①健康都市宣言推進事業
- ②生活習慣病予防対策推進事業
(運動習慣定着、健康スタンプラリー、食生活改善)
- ③地域介護予防活動支援事業
(地域づくり支援体制の強化、在宅介護支援センター機能の充実等)
- ④地域包括支援センターの機能強化
- ⑤元気な十和田市づくり活動支援事業
(人口減少、少子高齢化対策課題を重点支援)
- ⑥新たな広域的コミュニティ活動支援事業
- ⑦地域づくりのリーダーとなる人材の育成